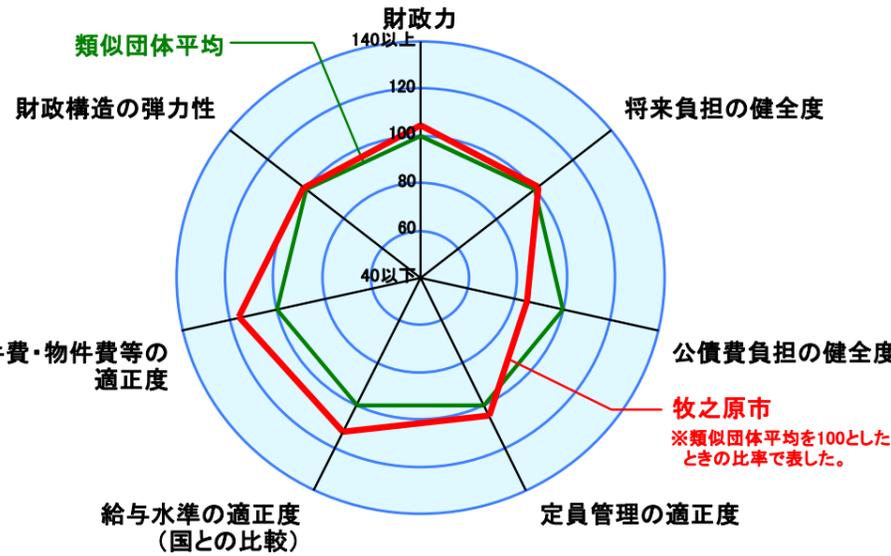
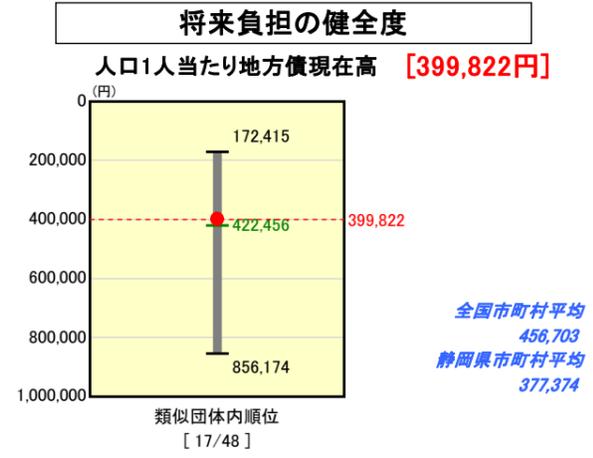
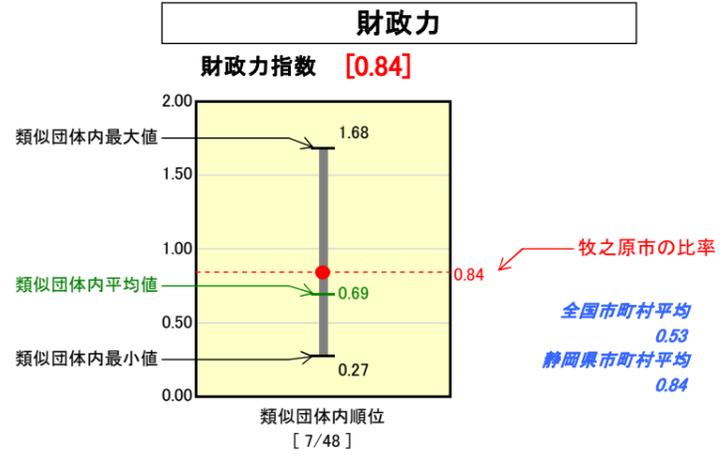


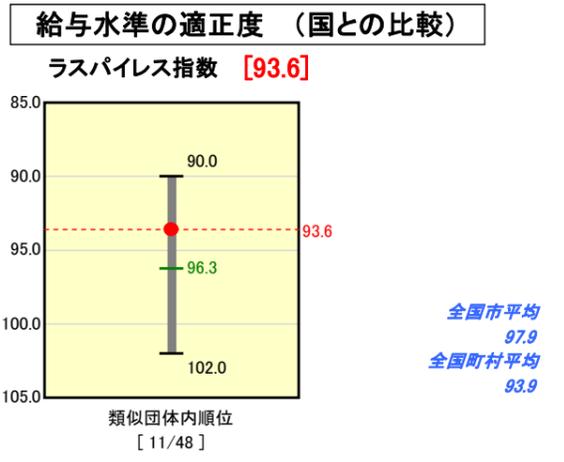
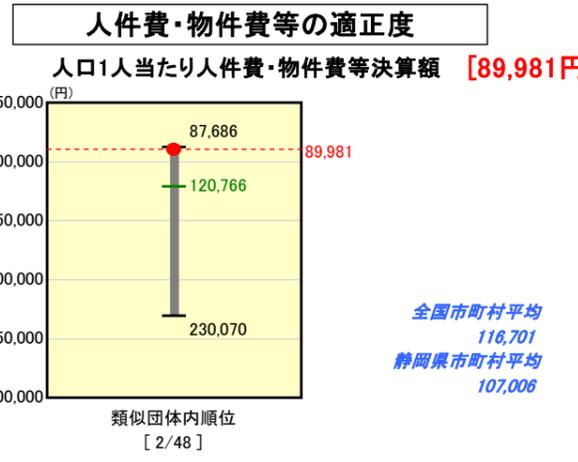
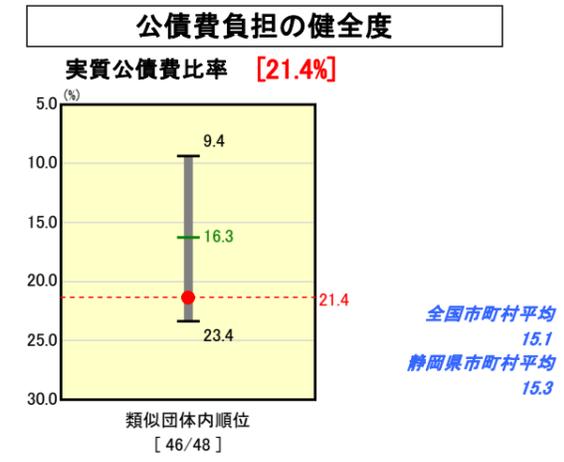
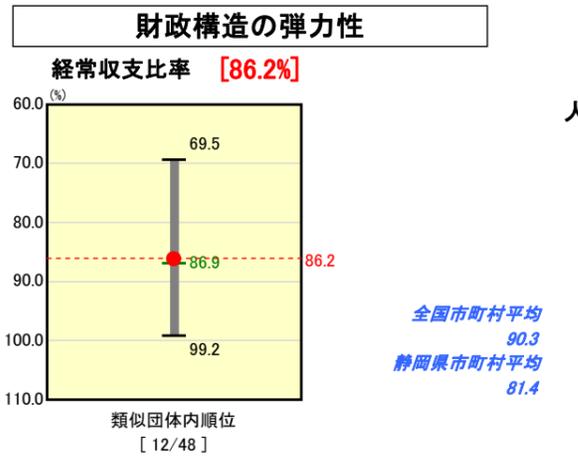
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

静岡県 牧之原市

人口	50,472	人(H19.3.31現在)
面積	111.50	km ²
歳入総額	19,243,447	千円
歳出総額	18,252,363	千円
実質収支	894,986	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
本年度指数は、0.84で平成13年度以降、上昇傾向にある。しかし、歳入総額は、平成13年度に比べ△98,008千円となっており、収入増というより基準財政需要額が低下したことが大きな要因と考えられる。ただし、収収が平成16年度以降、3年連続の増となっており、今後においても、市内企業の業務拡大により増額が見込まれている。このため、今後の上昇が見込まれる。

経常収支比率:
昨年度に比べ1.3%の増、86.2%となり、財政の硬直化が進んでいる。集中改革プランにより、人件費や補助費等の減額に努めているが義務的経費である扶助費や公債費等の増加により比率の上昇が見られる。引き続き集中改革プランを遂行し、比率上昇の抑制を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
統計上の数値は、類似団体において2番目に少ない決算額となっている。昨年に対する減額(△4,744円)は、事務事業の見直しによる経費の削減効果であると考えられるが、総額が少ない要因は、ゴミ・し尿処理、消防などを一部事務組合で行っているため、これらに係る物件費が他の項目に算入される影響があると考えられる。

ラスパイレース指数:
本年度指数は、93.6で全国市平均及び類似団体平均を下回っている。国においても、人件費総額の削減に努めており、地方においても同様

の取り組みが求められている。国等の状況を踏まえ職種ごとに給与等の適切化を図る。

人口一人当たりの地方債現在高:
類似団体の平均と比較すると下回っているものの、前年度より僅かであるが増加している。また、物件費と同様、ゴミ・し尿処理、消防、病院など市債の対象となる事業が一部事務組合により行われているため、それらを含めると平均を大幅に上回る額(667,400円)となる。平成19年2月に策定した公債費負担適正化計画を遵守し、計画的に現在高の減少を図る。

実質公債費負担比率:
前年度と比較して0.7%の増、21.4%となった。地方債現在高の欄で述べた一部事務組合等に係る公債費が算入されるため、県下におけるワースト1となった。今後も平成21年度をピークに上昇するものと推測しているが、公債費負担適正化計画により平成27年度までに18%未満に減らすこととしている。

人口1,000人当たり職員数
定員適正化計画により、平成17年4月比、△24人、408人に削減する予定であるが、平成19年4月で△20人、413人となっており、計画の前倒し達成が見込まれる。計画の達成以後は、年齢構成等を踏まえた採用等を実施し、適正な人員配置に努める。